



公益財団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会 報

第 83 号

令和 3 年 9 月 15 日

発行人

茨城県スポーツ指導者協議会

会 長 照 沼 一 美

事務局 〒 306-0204

古河市下大野 1463-4

事務局長 鈴 木 義 夫

TEL・FAX 0280-92-4555

会員数 1,497 名 (R3.9.15 現在)



全県研修会（令和3年8月1日（日） 水戸市・JA グループ茨城教育センター）

公益財団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ	2
顧問あいさつ	2
令和2年度収支決算報告書	3
令和3年度収支予算書	3
令和3年度協議会事業計画書	4
茨城県スポーツ指導者協議会感謝状受賞者あいさつ	5
理事就任あいさつ	5～6
支部だより	6～8
協議会事務局便り	8

会長あいさつ



会長

照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

令和三年度の事業は新型コロナウイルス禍の中、令和三年四月二十三日、本協議会定例総会において事業計画をご承認いただきました。

更新時に必要な研修会の実施に向け、県スポーツ協会のご指導を受けながら、理事会において協議し、令和三年八月一日「全県研修会」をはじめ「中央地区研修会」を十月三日、「県西地区研修会」を十一月十四日、「鹿行地区研修会」を令和四年一月三十日に実施をいたします。当然、新型コロナウイルス感染の危機を考慮し、感染防止対策に万全を注ぎ、実施いたします。研修会の運営に関わる役員の方々は、例年の比較に値しないご負担をおかけいたします。有資格者の更新に関わる研修会は、希望者の存在するかぎり茨城県スポーツ指導者協議会として研修会を実施することを念頭におい

ております。

茨城県スポーツ指導者協議会は、新型コロナウイルス感染の収束が一日も早く訪れることを切願するものです。そのためには、我々スポーツ仲間が感染防止に自助努力を惜しむことなく、努力して参りましょう。

本協議会会員の皆様への還元事業とし実施する研修会は、各種の制限を鑑み定数を半減させての実施となっております。会員の皆様におかれましては、これらの諸事情をご理解いただき、研修会参加の際はご協力をお願い申し上げます。なお、今後各地区ごとの研修会も暫時それぞれの支部長の裁量により実施されますことを申し添えます。会員の皆様には本年度の研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。併せて各支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

末尾でありますが公益財団法人日本スポーツ協会の発信する最新情報に注目され、ご自身の指導体制に対応されますようご期待いたしております。



顧問あいさつ



顧問

加藤 敏弘

日本ではロックダウンを実施する法律が整備されていないことから、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で対応してきました。既に一万五千人ほどの死者を生み出し、海外に比べればその被害は少なく見えますが、コロナ禍関連死を含めれば楽観視できるレベルではありません。

英語の Health が日本語の「健康」と訳されたのは、一八六二年（江戸末期）とされており、それまでは貝原益軒の『養生訓』（一七一三年）による健康観が日本を支配していました。これは現代の日本にもまだ息づいています。養生訓は「病気になるためには〇〇をしないこと」が求められています。健康を妨げる特定の行為、食物、行為を制限することによって健康が維持されるという考え方です。

これに対して Health は「完全な」を意味する古英語 *hal* を語源としており、そこから派生した *holy*（聖なる）、*Holistic*（全体の、全身の）、*hale*（強壮な）のよう

に「まったくかけたところのない完全な状態」への崇拜が根底にあります。つまり、「〇〇しないこと」ではなく「〇〇すること」によって完全な状態を獲得するのが英語の「健康」という概念です。

英国や米国などではロックダウンをくり返しながらも同時にワクチン接種を進めてきました。我慢することに慣れていない国民にはこうした施策が効果的です。日本では養生訓による健康観を前提に、人々に我慢することを求めてきました。しかし、もう限界に達しています。

人々との交流が十分に保てない状況は、じわじわと抑うつ状態を招いています。スポーツ指導者のみなさまには、感染症対策を万全に講じた上で、少しでも多くの方をみなさんの活動の輪に加えてあげてください。欧米の健康観に習って、アクティブになるためのアクションを工夫しましょう。

みなさん

ホームページを

もっと活用

しましょう！


<http://www.ibaraki-sports.or.jp/>

令和 2 年度収支決算報告書（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 費	1,200,000	1,648,000	448,000	4,000 円× 412 名
2. 助 成 金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会（令和 2 年度）
3. 繰 越 金	412,654	412,654	0	前年度繰越金（令和元年度）
4. 雑 収 入	27,346	48,410	21,064	利息・返金・広告料
合 計	1,840,000	2,309,064	469,064	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	190,000	142,690	△ 47,310	
総 任 理 事 会	35,000	38,788	3,788	切手・事務品・飲料
常 務 理 事 会	30,000	14,204	△ 15,796	切手・事務品・飲料
理 事 委 員 会	25,000	30,259	5,259	切手・事務品・飲料
総 務 委 員 会	20,000	6,981	△ 13,019	切手・事務品・飲料・手当
研 修 委 員 会	40,000	33,740	△ 6,260	切手・事務品・飲料・手当
広 報 委 員 会	40,000	18,718	△ 21,282	切手・事務品・飲料・手当
2. 事 務 費	560,000	677,468	117,468	
旅 行 費	130,000	203,000	73,000	各種会議・研修会（全県・水戸地区・県南地区）
役 務 費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消 耗 品 費	120,000	164,953	44,953	事務用品・コピー紙・ラベル・インク・その他等
食 料 費	20,000	14,900	△ 5,100	監査・事務局・委員会
印 刷 コ ピ ー 費	80,000	57,745	△ 22,255	封筒印刷・カード印刷・コピー使用
通 信 費	120,000	141,376	21,376	切手・ゆうパック
備 品 費	40,000	45,494	5,494	ソフト・メモリー・付属品・ゴム印等
3. 事 業 費	540,000	560,724	20,724	
会 報 印 刷 費	180,000	190,000	10,000	会報第 81 号・第 82 号印刷
会 報 発 送 費	240,000	236,628	△ 3,372	会報第 81 号・第 82 号郵送
研 修 会 費	50,000	112,656	62,656	研修会（全県研修・地区研修）諸経費
派 遣 費	70,000	21,440	△ 48,560	研修会派遣
4. 支 部 活 動 費	370,000	280,000	△ 90,000	
県 北 活 動 費	85,000	70,000	△ 15,000	前期活動・県北更新研修・支部会報
水 戸 活 動 費	60,000	60,000	0	前期活動・水戸地区研修
中 央 活 動 費	70,000	60,000	△ 10,000	前期活動・支部更新研修
鹿 行 活 動 費	55,000	30,000	△ 25,000	前期活動
県 南 活 動 費	50,000	30,000	△ 20,000	県南地区研修
県 西 活 動 費	50,000	30,000	△ 20,000	前期活動
5. 負 担 金	10,000	0	△ 10,000	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑 費	100,000	178,655	78,655	手数料・発送作業・その他等
7. 予 備 費	70,000	0	△ 70,000	関ブロ準備金
合 計	1,840,000	1,839,537	△ 463	

収入合計 2,309,064 円
支出合計 1,839,537 円
差引残金 469,527 円

なお、差引き残金は令和 3 年度本協議会収支予算書に繰り越いたします。

令和 3 年度 収支予算書（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 費	1,400,000	1,200,000	200,000	4,000 円× 350 名
2. 助 成 金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会（令和 3 年度）
3. 繰 越 金	469,527	412,654	56,873	前年度繰越金（令和 2 年度）
4. 雑 収 入	30,473	27,346	3,127	利息・返金・広告料等
合 計	2,100,000	1,840,000	260,000	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	185,000	190,000	△ 5,000	
総 任 理 事 会	35,000	35,000	0	切手・事務品・飲料・表彰・監査等
常 務 理 事 会	30,000	30,000	0	切手・事務品・飲料他
理 事 委 員 会	25,000	25,000	0	切手・事務品・飲料他
総 務 委 員 会	15,000	20,000	△ 5,000	切手・事務品・飲料・手当
研 修 委 員 会	40,000	40,000	0	切手・事務品・飲料・手当
広 報 委 員 会	40,000	40,000	0	切手・事務品・飲料・手当・会場使用料・版下他
2. 事 務 費	690,000	560,000	130,000	
旅 行 費	150,000	130,000	20,000	各種会議等（総会・常任理事会・理事会は除く）
役 務 費	90,000	50,000	40,000	会長・事務局長・事務局員
消 耗 品 費	150,000	120,000	30,000	コピー紙・ラベル・インク・事務用品等
食 料 費	30,000	20,000	10,000	事務局・委員会・会計監査
印 刷 コ ピ ー 費	80,000	80,000	0	封筒印刷・カード印刷・会議資料コピー他
通 信 費	140,000	120,000	20,000	切手・ゆうパック
備 品 費	50,000	40,000	10,000	ソフト・メモリー・附属品・ゴム印等
3. 事 業 費	550,000	540,000	10,000	
会 報 印 刷 費	200,000	180,000	20,000	会報第 83 号・第 84 号印刷
会 報 発 送 費	240,000	240,000	0	会報第 83 号・第 84 号郵送
研 修 会 費	60,000	50,000	10,000	研修会（全県研修・地区研修）諸経費他
派 遣 費	50,000	70,000	△ 20,000	研修会派遣・関東プロ会議派遣・全国会議派遣
4. 支 部 活 動 費	345,000	370,000	△ 25,000	
県 北 活 動 費	60,000	85,000	△ 25,000	支部実務研修・支部会報 2 回
水 戸 活 動 費	30,000	60,000	△ 30,000	普通救命講習・スポーツ教室
中 央 活 動 費	70,000	70,000	0	中央地区研修・普通救命講習
鹿 行 活 動 費	85,000	55,000	30,000	鹿行地区研修・支部講演研修会・支部便り 1 回
県 南 活 動 費	40,000	50,000	△ 10,000	支部便り 2 回
県 西 活 動 費	60,000	50,000	10,000	県西地区研修
5. 負 担 金	10,000	10,000	0	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑 費	150,000	100,000	50,000	手数料等・発送作業等・その他
7. 予 備 費	170,000	70,000	100,000	関東プロ研修準備金及び準備委員会
合 計	2,100,000	1,840,000	260,000	

収入合計 2,100,000 円
支出合計 2,100,000 円
差引残金 0 円

令和3年度 本協議会事業計画書

1、方 針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携に努めて、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者が、本協議会に会員入会（新規入会・会員更新）の促進を積極的に推進する。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2、目 標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の組織体制を図り、本部事務局及び支部組織の充実に努める。
 - ②市町村及び競技団体との連携・協調に努める。
 - ③有資格者の会員入会（新規入会及び更新入会）の促進を積極的に推進する。
- 2) 更新研修会（全県研修・地区研修）を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県スポーツ協会及び市町村体育（スポーツ）協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。
- 6) 関東ブロックスポーツ指導者協議会の情報交換と連携協力する。
- 7) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを尊重して実施する。

3、事 業

- 1) 令和3年度公益財団法人茨城県スポーツ協会事業協力
 - ①令和3年度茨城県スポーツ指導者研修会・全県研修会

(1)期 日	令和3年8月1日（日）午前9時30分受付・10時開会～午後2時45分閉会
(2)会 場	水戸市・J Aグループ茨城教育センター・二階大会議室・一階研修室（R2/8/15 予約済）
(3)参 加 料	会員1,000円・未会員3,000円
(4)参加定員	130名（二階大会議室80名・一階研修室50名）
(5)主 管	研修委員会
(6)運営委員	26名予定（本部役員・研修委員・総務委員・広報委員）及び茨城県スポーツ協会2名
 - ②令和3年度茨城県スポーツ指導者研修会・中央地区研修会

(1)期 日	令和3年10月3日（日）午前9時30分受付・10時開会～午後2時45分閉会
(2)会 場	ひたちなか市・笠松運動公園陸上競技場大会議室（R3.1.20 予約済み）
(3)参 加 料	会員1,000円・未会員3,000円
(4)参加定員	80名
(5)主 管	中央支部
(6)運営委員	20名以内（本部役員・中央支部役員）及び茨城県スポーツ協会2名
 - ③令和3年度茨城県スポーツ指導者研修会・県西地区研修会

(1)期 日	令和3年11月14日（日）午前9時30分受付・10時開会～午後2時45分閉会
(2)会 場	下妻市・千代川公民館一階ホール
(3)参 加 料	会員1,000円・未会員3,000円
(4)参加定員	100名
(5)主 管	県西支部
(6)運営委員	20名以内（本部役員・県西支部役員）及び茨城県スポーツ協会2名
 - ④令和3年度茨城県スポーツ指導者研修会・鹿行地区研修会

(1)期 日	令和4年1月30日（日）午後0時30分受付・1時開会～午後5時閉会
(2)会 場	鉾田市・大洋公民館一階大会室
(3)参 加 料	会員1,000円・未会員3,000円
(4)参加定員	120名
(5)主 管	鹿行支部
(6)運営委員	20名以内（本部役員・鹿行支部役員）及び茨城県スポーツ協会2名
- 2) 令和3年度本協議会会報発行
 - ①会報第83号発行

(1)ページ数	8～10ページ予定
(2)依 頼 日	6月初旬予定
(3)依 頼 先	会長・茨城県スポーツ協会・顧問・事務局長・専門委員長・新任役員・競技団体 本協議会受賞者・事務局だより・支部だより・みんなの広場・令和3年～4年度役員名簿
(4)発行日	令和3年9月15日予定
(5)発行先	6支部会員・県外会員及び新規入会会員
(6)発行数	1,700部予定
 - ②会報第84号発行

(1)ページ数	8～10ページ予定
(2)依 頼 日	1月初旬予定
(3)依 頼 先	会長・茨城県スポーツ協会・顧問・事務局長・専門委員長・競技団体 日本スポーツ協会受賞者・事務局だより・支部だより・みんなの広場
(4)発行日	令和4年3月15日予定
(5)発行先	6支部会員・県外会員及び新規入会会員
(6)発行数	1,700部予定

3) 令和3年度関東ブロックスポーツ指導者協議会会議

- ①令和3年度関東ブロックスポーツ指導者協議会宿泊研修会

(1)期 日	令和3年11月中旬予定
(2)会 場	栃木県・
(3)参 加 者	若干名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大島顧問・関プロ準備委員若干名）
(4)開催主管	栃木県スポーツ指導者協議会
- ②令和3年度関東ブロックスポーツ指導者協議会役員会・会計監査・総会

(1)期 日	令和4年3月下旬予定
(2)会 場	未定
(3)出 席 者	3名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長・大島顧問）予定
- 4) 令和3年度全国スポーツ指導者連絡会議
 - ①令和3年度第1回全国スポーツ指導者連絡会議全体会及び分科会

(1)期 日	令和3年7月上旬予定
(2)会 場	東京都・ジャパンスポーツオリンピックスクエア14階
(3)出 席 者	2名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長）予定
 - ②令和3年度第2回全国スポーツ指導者連絡会議全体会及び分科会

(1)期 日	令和3年11月下旬予定
(2)会 場	東京都・ジャパンスポーツオリンピックスクエア14階
(3)出 席 者	2名（照沼会長・鈴木副会長兼事務局長）予定
 - ③令和3年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰

(1)期 日	令和3年11月下旬予定
(2)会 場	東京都・未定
(3)受 賞 者	若干名（本協議会推薦・競技団体推薦・市町村推薦）
 - ④令和3年度公認スポーツ指導者全国研修会

(1)期 日	令和3年11月下旬予定
(2)会 場	東京都・未定
(3)出 席 者	若干名（参加希望者及び受賞者）
- 5) 令和3年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰推薦者

(1)県北支部・（柴田美知代様）	(5)県南支部・推薦者なし（小松崎一郎様・再度推薦）
(2)水戸支部・推薦者なし	(6)県西支部・推薦者なし
(3)中央支部・推薦者なし	(7)常任理事会・推薦者なし
(4)鹿行支部・推薦者なし	
- 6) 令和3年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦者（功労賞・感謝状）

(1)県北支部・推薦者なし	(5)県南支部・推薦者なし
(2)水戸支部・（加藤正敏様・感謝状）	(6)県西支部・推薦者なし
(3)中央支部・推薦者なし	(7)常任理事会・推薦者なし
(4)鹿行支部・推薦者なし	
- 7) 令和3年度本協議会各種会議等開催計画

①総 会	期 日	令和3年4月23日（金）
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室
②常任理事会	期 日	3回計画・9月22日（水）・令和4年2月9日（水）
	会 場	令和4年3月23日（水）予定 水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室
③理 事 会	期 日	2回計画・4月9日（金）・令和4年3月1日（火）
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室
④会計監査	期 日	令和4年3月26日（土）
	会 場	笠間市・笠間友部公民館二階会議室
⑤専門委員会	期 日	2回計画・11月18日（木）・令和4年2月3日（木）
(1)総務委員会	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階ゲートボール事務所
②研修委員会	期 日	3回計画・5月25日（火）・7月21日（水）・8月18日（水）
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室
③広報委員会	期 日	2回計画・8月15日（日）・令和4年2月20日（日）予定
	会 場	笠間市・笠間友部公民館二階会議室
⑥事務局会議	期 日	4回計画・5月20日（木）・令和4年1月22日（土）・令和4年2月3日（木）・令和4年3月19日（土）
	会 場	水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室『5月20日（木）』
⑦準備委員会（関東プロ）	期 日	4回計画・6月16日（水）・9月15日（水）・12月15日（水）
	会 場	令和4年2月9日（水） 水戸市・茨城県水戸生涯学習センター分館内二階会議室

茨城県スポーツ指導者協議会 スポーツ指導者感謝状

受賞者あいさつ



水戸市
加藤 正敏

テニスの指導から学べること

令和三年四月、茨城県スポーツ指導者協議会の席上「感謝状」を頂きました。水戸市テニス協会スポーツ少年団（テニス）に携わり四十二年になります。この間日本スポーツ協会・公認スポーツ指導者（テニス）の資格を取り、又、茨城県体育協会から「体育功労賞」も頂きました。

私自身、現在も小学生を対象にテニスの指導に励んでいます。小学生の身体能力も年々顕著になるものを感じます。例えば、女子の背丈が高く、脚の細い生徒が増えていくことがあげられます。男子を久しぶりに観ると、いつの間にか身長も高くなり、脚力も向上して、ストロークを打つ力も力強くなっているのに驚かされます。数年前に世界のトップ五に錦織圭が入り、少年少女の憧れの的になり、テニスブームも起こりました。

た。世界的に注目される競技がある。私達大人も、この少年少女達の活躍の場を提供してあげたいという衝動にかられないでしょうか？テニスの指導者としての視点でその子の柔軟性を観ると、「この子は、ちょっと硬いかな？」と思える子には、ストローク、ボレー、サーブのやり方でも異なる仕方を教えています。「柔軟性」は、どのスポーツ種目でも必要な能力と思っています。

子供達の柔軟性を養うためにもテニスの練習に入る前には、必ず股関節の運動やフットワークの方法を、時代の先端をいくウェブなどから取り入れて、「感謝状」をいただいたのを機に指導者として鑑みることとしたいと思います。



理事就任あいさつ

県バレーボール協会

水戸市 戸澤 勉

昨年度より茨城県スポーツ指導者協議会競技団体理事を仰せつかりました。戸澤勉と申します。若輩者ですがお役に立てるよう努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

二〇一九年は茨城国体の成功。二〇二〇年は新型コロナウイルス感染症の影響で北関東総体の中止とオリンピックの延期。二〇二一年はコロナ禍での各種スポーツ大会開催など、スポーツを取り巻く環境は困難な状況になっていきます。しかし、コロナ禍でのオリンピックが実施されました。沢山の課題と意見はありますが、無観客で映像のみの観戦ではありますが、スポーツの素晴らしさは選手、スタッフ、観客が感動や喜び悔しさを共有できる事です。そしてこの素晴らしさは次世代へ夢を与える力を持っていると思います。また、個々の特性に合わせたスポーツを実践する事で健康寿命を延ばす事もできます。

日本のスポーツ強化の基礎を作ってきた部活動の在り方も令和五年度より大きく変化する時を迎えます。学校と地域の融合による運営になります。今後の指導は目標と課題の設定、指導内容の共有、事前説明の必要性が求められ、指導力の向上に繋がると思います。選手においては自己管理能力の向上、競技力向上の方法を選択できる環境等が整う利点が多くあると思います。一方で、困難な部分もありますが、変化が求められている時代に対応できるよう微力ながら皆様のお役に立てるよう努力していきます。

どうぞよろしくお願い致します。

県弓道連盟

筑西市 米山 良美

競技団体理事（弓道）就任にあたり、ご挨拶申し上げます。茨城県弓道連盟では日本スポーツ協会の指導者資格を有する弓道指導者は、約百六十名おり、それぞれ各地域の道場あるいは学校の弓道部の指導者として活動しております。

全日本弓道連盟は、基本的事業（昇段審査、各種講習会、研修会、各種競技大会）を公平・公正に運営するため、審査会、指導講習会、競技会を、公認資格を有する委員により正しい運営が行えるよう制度化し、平成三十年度より施行しております。この公認資格を取得する要件の一つに日本スポーツ協会の指導者資格があります。

昨年来、新型コロナウイルスの猛威により、私たちの生活は一変し、審査会、競技会、講習会も従来の方法では実施出来ない為、全日本弓道連盟のガイドインを基に茨城県弓道連盟独自のガイドラインを作成し、感染防止対策を徹底して実施してきました。

弓道界においても、ガバナンス、コンプライアンスの知識も必要であるため、講習会においても重要な項目として位置づけられております。また、デジタル化に対応し効率化を実現した運営等が必須と考えます。

新型コロナウイルスの終息には

まだ見通しが立たない状況ではあります。皆様方のご健康と一日も早く、スポーツが安全に楽しめる日が来ることを願ひまして、理事就任の挨拶といたします。

県山岳連盟

石岡市 木村 実

このたび競技団体理事に選出され、先輩諸賢のご指導をいただき微力を尽くしたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

昨年はコロナウイルスの影響により国民体育大会は延期になりました。競技団体ごとに大会感染予防ガイドライン等を作成、大会開催に向けて準備を進めているかと思ひます。

茨城県スポーツ指導者協議会の事業は、規約に八項目あります。メインは(二)の公認スポーツ指導者の更新研修並びに資質向上に関すると思ひます。協議会では全県研修会、各地区研修会と年四回の機会が与えられています。競技団体でも更新研修は、日本スポーツ協会と連絡を取り更新研修会の認定を受けて実施をしています。更新研修の機会が増え更新研修と資質向上が図れます。

(五)の公認スポーツ指導者の育成と活用では、笠松運動公園で開催されているスポーツフェスティバル、クライミング教室の講師は全て公認スポーツ指導者で賄い、指導者の活用を進めています。

す。また、国民体育大会のスポーツクライミング競技監督は、上位競技団体の指導もあり、公認スポーツ指導者でなければ監督にはなれません。

茨城国体時の施設を鉾田市が活用を進め、旧小学校体育館にスポーツクライミングセンター設置が完了し、競技団体でクラブを立上げスポーツクライミング競技の普及、底辺拡大を公認スポーツ指導者の協力を得ながら進めて参ります。

支部だより

水戸支部

副支部長 岡野 秀一

令和三年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の中で始まり、各競技団体の競技会及びトレーニング活動も出来るだけ密を避け行動をする現状です。

日常の活動がままならない状況で、子供達・シニア世代の運動不足による精神的・体力的衰退が心配されます。コロナ感染終息の不透明感の中で、感染予防対策を心掛けながら競技大会・トレーニング活動を準備・開催に取り組んでいる指導者・関係者方々の努力には頭が下がる思ひです。

令和三年度行事計画

水戸支部令和三年度総会については、コロナウイルス感染の現状

を踏まえて書面開催となりました。

令和三年度支部行事予定として令和三年九月十二日(日)水戸市上中妻市民センターにて、水戸地区救急普及協会の協力のもと、救急救命講習会の予定しております。

日常の活動がままならない状況ですがワクチン接種も進みつつあり、良い方向に向かっていると思ひますが、感染対策を怠らず笑顔でスポーツが楽しめるように頑張ります。

中央支部

事務局 五十嵐 雅晴

中央支部総会が令和三年四月二十四日(土)ひたちなか市松戸体育館に於いて開催されました。参加者数は十三名でしたが、委任状の提出と出席者数とで過半数を超え、会議の成立を確認しました。こので総会議事を進めました。議事事項は令和二年度の事業・会計報告、三年度の事業計画・予算審議・役員選出、を進め承認されました。更に暫く改正していませんでした。中央支部規約の改正審議を行い、承認されました。規約の改正については、本部協議会規約に伴う改正が殆んどです。

昨年はコロナ感染症の影響で開催が出来なかった中央支部の講習会(救急救命講習会)を六月五日(土)に開催しました。今年度初

めの試みではありましたが、指導者協議会以外(民間企業)との合同で講習会を実施しました。参加者数は十五名で、中央支部の活動等アピールすることができました。

また、この講習会で確認できた事は、数年前に講習を受講していた私でしたが、いざ救命救急を実施すると、あわてていて何も出来ずにいる自分に気付きました。救命救急は、数回繰り返し受講をすることで、冷静に出来るようになることがはつきりと確認が出来ました。

七月十八日(日)に中央支部常任理事・理事会を東海村村松コミュニティセンターにて開催しました。議事の主な内容は、中央地区研修会に関する事前打合せです。運営方法・運営委員・各委員の役割等を話し合いました。

本部への会議の参加状況ですが、令和三年度スポーツ競技会(本部)総会への出席・全権研修会打ち合わせ会議の出席・令和三年度関東ブロック準備委員会の出席・その他本部専門委員会への出席等の活動を令和三年四月から行ってきました。また今年度全権研修会八月一日(日)へ中央支部役員の一部と一般会員数名とでお手伝い参加して来しました。

今後は、十月三日(日)に日本スポーツ協会公認指導者更新研修会を中央地区研修会として、笠松運動公園陸上競技場会議室に於いて

て開催予定をしています。

今年度から中央支部の事務局長をお引き受けをさせて戴くことになりました。少しでも皆さんのお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

鹿行支部

副支部長

君和田 治也

昨年の今頃は、今を我慢すればコロナ感染症も落ち着いてくるのかと気楽な気持ちでいたのですが、一年を過ぎても落ち着くどころか終息しないまま、更に増加している状況が続いています。

頼みの綱はやはり、ワクチン接種だという状況で様子を見ていますが、一人一人の行動が重要と思っています。

スポーツ指導者協議会として、八月一日には全県研修会をコロナ感染防止を図りながら行うことが出来ました。

鹿行支部では、二年に一回行われる鹿行地区茨城県スポーツ指導者研修会が、令和四年一月三十日(日) 鉾田市大洋公民館で実施する予定で準備中です。

各人に置かれましては、外出時には三密を避ける様、気を配り、コロナに掛からない、移さない為のマスク着用や手洗い・消毒を実践して生活していかねければならないと思います。

今年の毎日の楽しみは大谷翔平選手の「ショートタイム」を毎朝見

る事です。ホームランなどの成績も楽しみですが、大谷さんの一つ一つの行動や人に対する態度なども興味を持って見えています。

各スポーツ指導者の皆さん、勝負だけでなく日常生活を楽しく周囲の人々を幸せにするような人を育てるようになれば良いなと思っています。

：スポーツの力を(信じて)：
では最後に、コロナ感染を拡げないよう頑張りましょう。

県南支部

支部長

渡辺 吉光

令和二年一月から猛威を振るった新型コロナウイルス、今年に入り終息を見るかと思いきや、インドで発生した変異デルタ株に置き換わり、さらに感染拡大している今日この頃、県南地区に限らず指導者の皆様におかれましては自粛を強いられ、日常の活動も思い通りにいかず苦慮されていることとお察しいたします。

一番被害を被っているのは、子供達ではないでしょうか？指導、教授されずに困惑していることと思います。一日でも早くコロナウイルス感染症が終息し、平穏な日常生活に戻れますよう切に願っております。

こんな自粛の状況下、インターネットオンラインセミナーを受けてみてはどうでしょうか？
発信元、有償・無償、様々なオ

ンラインセミナーが有ると思います。が、今、私は日本スポーツ協会案内のオンラインセミナー、女性アスリートの育成・支援プロジェクト(女性アスリートをサポートするうえで知っておきたい基礎知識)を受講しています。

指導者資格の更新研修ではありませんが、無償で、時間も30分程、月一回、ファイルはいつでも開けます。あまり負担になりません。

今年度は、県南支部の支部役員の改選期でした。

新支部長をはじめ、新役員一丸となって県南地区活動に邁進してまいります。皆様のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

県西支部

事務局長

近藤 康雄

毎年、八月発行の支部便りは支部総会の報告を載せていました。茨城県は第三回緊急事態宣言の地域には入っていませんでしたが、支部総会当日(五月二十三日)は、茨城県知事からコロナ感染拡大市町村に下妻市が指定され、千代川公民館が使用できなくなり県西支部総会は、今年も昨年に続き中止となりました。事前に総会参加者を募ったところ二十名の会員の方から出席の通知がありました。中止決定までの時間が短く出席者に中止決定の連絡をしましたが、中止決定の確認漏れがないか開催日

当日は、事務局として千代川公民館に行くことにしました。走行中、電話連絡があり中止の事を伝え事なきを得ましたが帰宅後、再度もう一名から連絡があり、千代川公民館に行ったが、公民館が閉まっているとお怒り。参加のハガキが届いてなかった事を伝えましたがハガキは出席で出したと一点張りです。

支部総会中止の件はひと段落しましたが、県西支部会員188名への令和二年度報告事項と審議事項の承認の取りまとめがあり、188名に総会資料と承認(同意)ハガキを発送。回収した所、七月二十七日現在、145名の承認(同意)返信がありました。(43名が無回答)平成3年度もコロナ過の中、支部活動も思うようになりません。

オリンピック開催中ですが、七月二十七日今日の東京のコロナ感染者2848名との情報がスマホに入ってきました。今後の県西支部活動で決定しているのは、各支部持ち回り幹事の義務研修を十一月十四日(日) 下妻市千代川公民館で開催することです。今年で三回続けて千代川公民館で行うわけですが、前回まではすべて無料(公民館の使用料、演壇の横看板、講師の立て看板等)でしたが、今回は費用が掛かるようです。費用の事で申し訳ありませんが、県西事務局で進めてきたことが、県スポ

協議会事務局便り

※本協議会事務局便りは、会報 80 号から 20 年ぶりに復活し会員皆様へ新しい情報を発信いたします。

●令和 3 年度茨城県スポーツ指導者研修会

令和 3 年度研修会(全県研修会、地区研修会)を開催する案内文書は、令和 3 年 6 月上旬に郵送して 6 月 10 日から参加申込み受付を開始して、先着順で定員になり次第締め切りました。

(1)全県研修会

日 時 令和 3 年 8 月 1 日(日)
会 場 水戸市・J A グループ茨城教育センター
申込者 136 名先着順で 6 月 12 日締め切り

(2)中央地区研修会

日 時 令和 3 年 10 月 3 日(日)
会 場 ひたちなか市・笠松運動公園陸上競技場会議室
申込者 60 名先着順で 6 月 12 日締め切り

(3)県西地区研修会

日 時 令和 3 年 11 月 14 日(日)
会 場 下妻市・千代川公民館
申込者 60 名先着順で 6 月 12 日締め切り

(4)鹿行地区研修会

日 時 令和 4 年 1 月 30 日(日)
会 場 鉾田市・大洋公民館
申込者 130 名先着順で 7 月 10 日締め切り

●茨城県スポーツ指導者協議会ご紹介

I 公認スポーツ指導者制度

国民スポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立する事を目的に日本スポーツ協会が加盟団体等と一致協力して制定した制度であります。

II 発 足

茨城県スポーツ指導者協議会は、公認スポーツ指導者制度の創設に伴い、1979 年に全国スポーツ指導者連絡会議が発足し、日本体育協会並びに茨城県体育協会の指導のもとで、茨城県は 1979 年 3 月に発足し、2016 年 10 月現在で全国の公認スポーツ指導者は、15 万 9 千余名となりました。

III 活 動

茨城県スポーツ指導者協議会は、更新研修会(全県研修会・地区研修会)や各種講習会の企画、運営及び地域の研修会へ講師派遣等、または会報誌を年二回発行しており、公認スポーツ指導者の活動を行っております。

IV 会 員

茨城県スポーツ指導者協議会の会員は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格を有し、目的に賛同して会費を納入された方々であります。

V 会 費

- (1)会費は、4,000 円(4 年間分)を前納する。
- (2)入会は、資格を新規取得時及び資格更新時であります。
- (3)会費納入は、郵便振込用紙でお願いします。

☆茨城県スポーツ指導者協議会連絡先☆

〒306-0204 茨城県古河市下大野 1463-4
茨城県スポーツ指導者協議会事務局
担当・事務局長 鈴木義夫
TEL 0280-92-4555 FAX 0280-92-4555

スポーツ協会の方が千代川公民館に挨拶に行ったことで、話が違ってきただけです。県西支部事務局の「ほうれんそう」かな?十一月の事でわかりませんが、研修を開催する場合は、支部役員の他、下妻市、古河市、坂東市、境町等近隣の会員の方々のご協力をお願い致しますので宜しくお願い致します。

会報をご覧になりご意見、ご要望がありましたら
〒三〇六〇〇五二
古河市大山一五四三ー一三
県西支部事務局 近藤康雄
FAX 〇二八〇ー四八一九一
までご連絡をお願い致します。

県北支部

支部長

梅村 恒雄

昨年は、新型コロナウイルス感染症の発症により、支部の行事は中止になりました。

残念ながら県北地区研修会も開催することができませんでした。会員の皆様も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出や運動の機会が減り体調の変化などを感じている人もいることと思いますが、新型コロナウイルス感染症対策を契機に「新たな工夫」の取り組みの一つに企業では「テレワーク」による在宅ワーク」の働き方により、スポーツ界では、「ウ

エブシステムの導入」が始まりました。自宅で講師の動作を観ながら一人で学習するという新たなトレーニングに挑戦しましょう。

令和二年度の全国表彰において、県北支部から阿部幸江さん、高松淑子さんが、これまでの活動が認められ、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰を受賞されました。誠にありがとうございます。今後の更なるご活躍を期待しております。

また、令和三年度の茨城県スポーツ少年団本部長に、鈴木孝子県北支部副支部長が茨城県で初の女性本部長に就任されました。鈴木孝子副支部長は、日立市ス

ポーツ少年団本部長も歴任しており、日立市内から茨城県・全国へと活躍の場が広がりました。皆さま方のご支援・ご協力をよろしく願います。

結びになりましたが、まだまだ厳しい状況下ではありますが、新型コロナウイルス感染症に負けないために、新たな生活習慣を整えて免疫力をアップして「身体と心」を元気に活動していきましょう。

編集後記

広報委員長

君和田治也(鹿行支部)

第八十三号会報の発行に当たり、皆様に原稿執筆を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読をいただけるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報八十四号発行
令和四年三月十五日予定